

## 第6章 河川流況と水質

### 6-1 河川流況

狩野川の平均濁水流量は、本川の<sup>おおひと</sup>大仁で 8.0m<sup>3</sup>/sec (S44～H10)、<sup>とくら</sup>徳倉で 20.2m<sup>3</sup>/sec (S45～H10)、大場川の<sup>だいば</sup>大場で 4.6 m<sup>3</sup>/sec (S59～H5)、黄瀬川の<sup>ほんじゆく</sup>本宿で 2.0 m<sup>3</sup>/sec (H1～H10) となっている。

また、基準地点大仁の濁水流量の比流量（流域面積 100km<sup>2</sup> 当たりの換算流量）について、全国の一級河川（109 水系）の基準点における値と比較すると、全国平均値（1.07m<sup>3</sup>/sec・100km<sup>2</sup>）よりも大きな値（2.49 m<sup>3</sup>/sec・100km<sup>2</sup>）を示しており、豊富な水量を有している。

表 6.1 狩野川水系における流況

河川名	地点名	流況 (m <sup>3</sup> /sec)				1/10濁水	対象年
		豊水	平水	低水	濁水		
狩野川	黒瀬	65.6	50.9	42.3	35.2	32.2	S44～S53
	大仁	21.5	15.0	11.4	8.0	5.8	S44～H10
	千歳	25.0	18.4	14.5	10.7	8.0	S44～H10
	徳倉	39.2	29.8	24.7	20.2	15.0	S45～H10
黄瀬川	本宿	7.0	5.0	3.8	2.0	1.1	H1～H10
大場川	大場	6.9	5.9	5.3	4.6	4.1	S59～H5
来光川	蛇ヶ橋	2.7	2.0	1.6	0.9	0.5	H1～H10

（出典：蛇ヶ橋は観測流量年報、他地点は流量年表による）

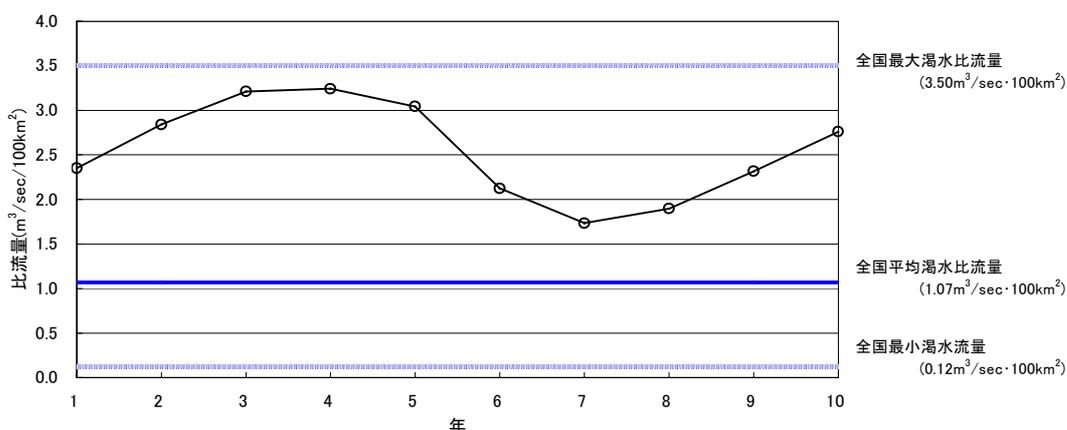


図 6.1 基準地点大仁における濁水比流量の経年変化状況と全国平均との比較

注：全国の濁水流量は一級河川（109 水系）の基準点における濁水流量の平均値（観測年全体の平均）を示した。

## 6-2 河川水質

### (1) 水質の環境基準値

狩野川水系では、狩野川本川、黄瀬川、大場川、来光川において、水質汚濁に係る環境基準の類型指定が表 6.2 のとおり行われている。

表 6.2 狩野川水系における環境基準類型指定

水域の範囲	類型	達成期間	基準点	指定年月日
狩野川上流（瑞祥橋より上流）	A A	イ	瑞祥橋	昭和 45 年 9 月 1 日
狩野川中流（瑞祥橋から神島橋まで）	A	イ	大仁橋	〃
狩野川下流（神島橋から下流）	B	ロ	徳倉橋・黒瀬橋	〃
黄瀬川上流（あゆつぼの滝より上流）	B	イ	あゆつぼの滝	平成元年 4 月 1 日
黄瀬川下流（あゆつぼの滝より下流）	C	ロ	黄瀬川橋	平成 9 年 4 月 1 日
大場川上流（出逢橋より上流）	A	イ	出逢橋	平成 2 年 4 月 1 日
大場川下流（出逢橋より下流）	D	イ	塚本橋	〃
来光川上流（大土肥橋より上流）	A	イ	大土肥橋	〃
来光川下流（大土肥橋より下流）	C	イ	蛇ヶ橋	〃

注) 達成期間：イ...直ちに達成

ロ...5年以内で可及的速やかに達成

ハ...5年を超える期間で可及的速やかに達成



図 6.2 狩野川水系における環境基準の類型指定と基準点

## (2) 水質の現状

狩野川水系の各環境基準点における最近 10 ヶ年（平成元年～10 年）の BOD75% 値をみると、概ね環境基準を満足している。縦断的には、狩野川上流・中流（神島橋より上流）は良好であるが、都市化の進展や下水道整備の遅れ等により、狩野川下流（神島橋より下流）や黄瀬川下流（あゆつぼの滝より下流）では流況の悪い年には環境基準値を上回ることが見られる。

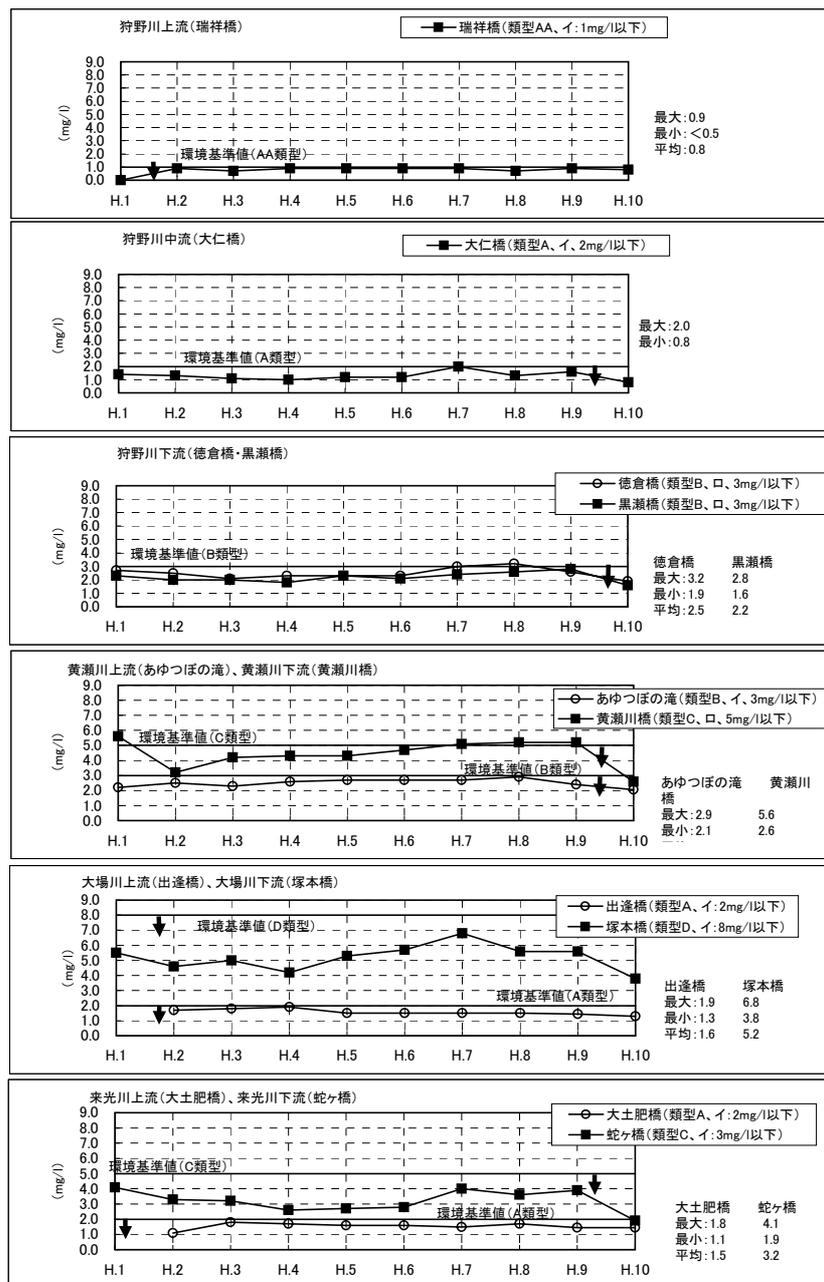


図 6.3 狩野川水系の水質（BOD75%値）の経年変化

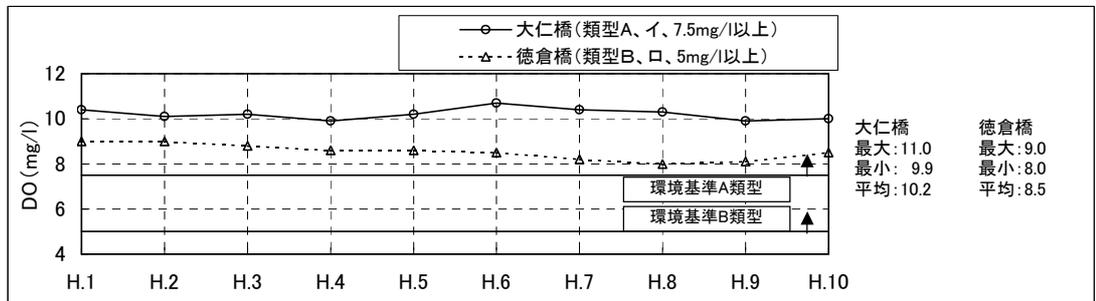
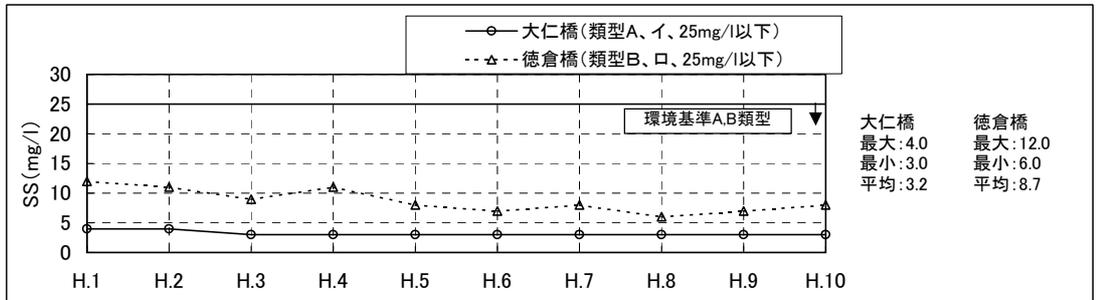
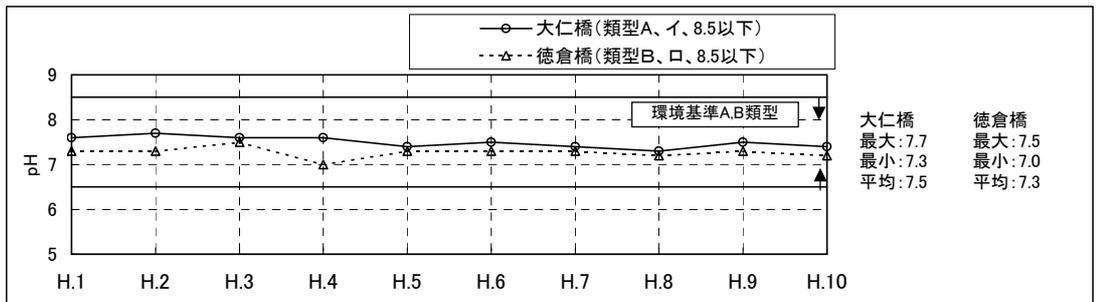


図6.3(2) 狩野川水系の水質 (pH, SS, DO) の経年変化

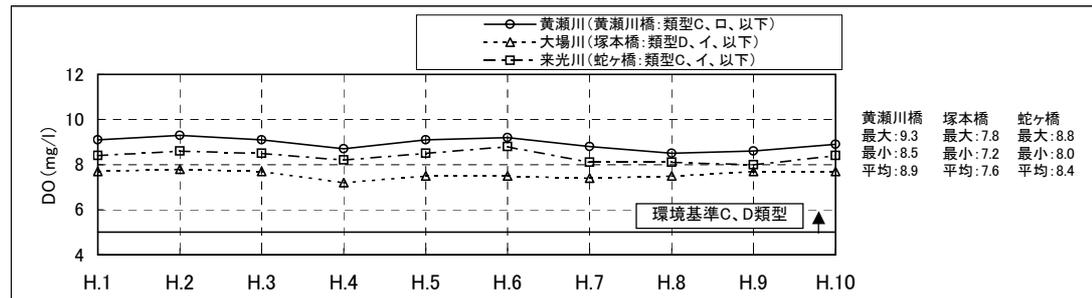
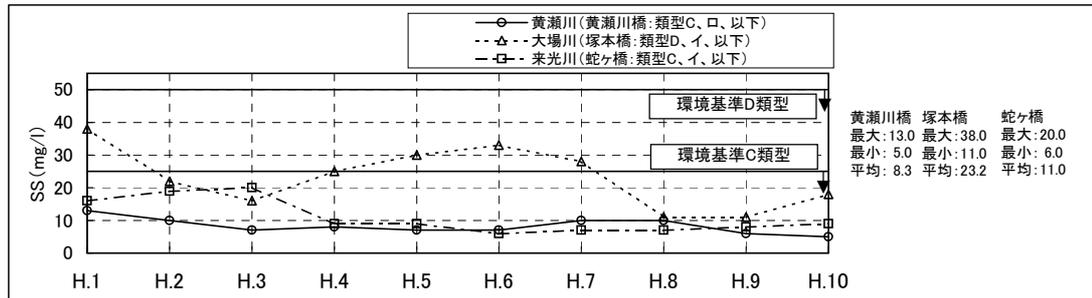
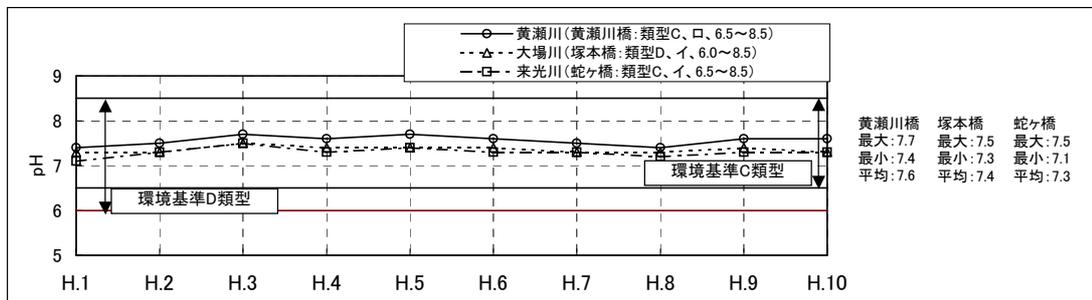


図6.3(3) 狩野川水系(支川)の水質 (pH, SS, DO) の経年変化

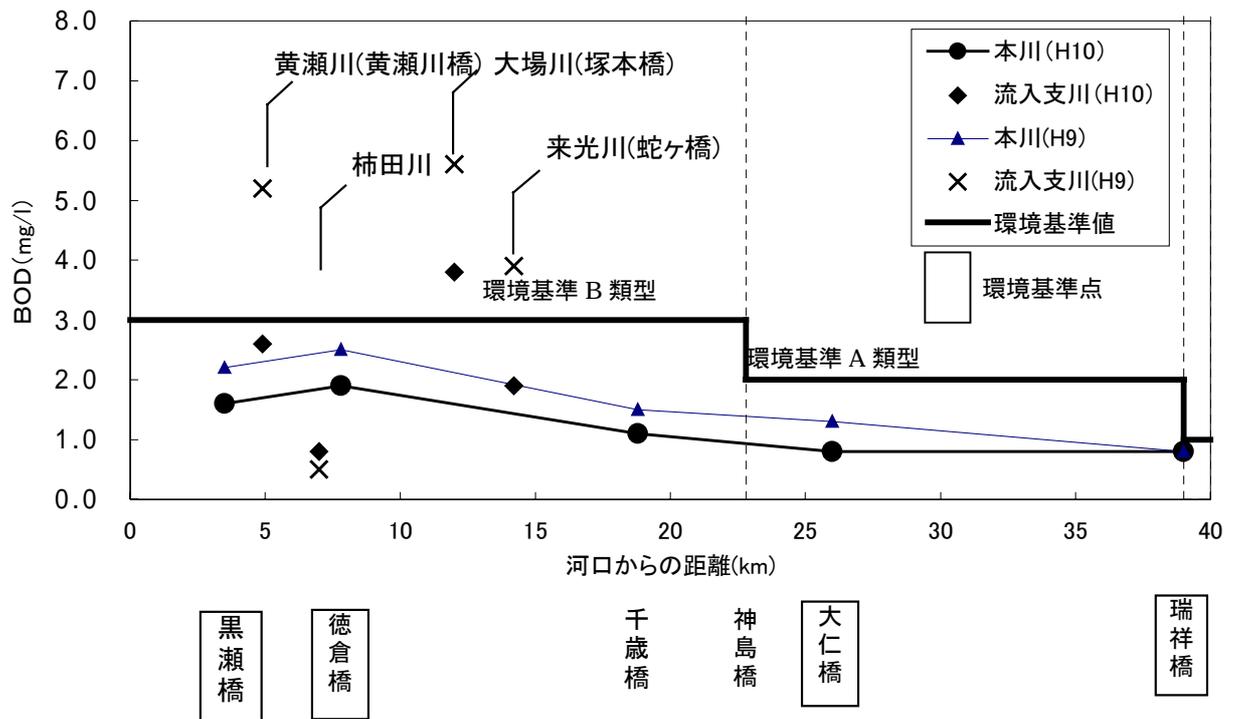


図6.4 狩野川のBOD縦断变化図(75%値)